

# 表情のある声 目指して

相手に聞きやすい声とは、どんな声だろう。

「『声』と『言葉』で心に響く、プロの話し方作法」の著書があるフリーアナウンサー川邊暁美さん(48)は「音として力があり、明瞭な言葉として発せられているかどうかのポイント」と言う。

景を見せてもらった。母音の「あいうえお」を正しく発音できると、言葉が明瞭になるといふ。まずはのどを傷めないようウォーミングアップ。「む」とハミングしたあと「あえいうお」を順繰りに発音する。「む(5秒)、あ(10秒)」「む(10秒)」「あ(5秒)、え(10秒)」と続ける。

北原白秋の詩「五十音」を音読。母音の口の形を意識しながら一音一音、ゆっくりと。言いくい行があれは苦手な音がわかり、対策をとりやすい。初めて話す人に自分の名前を伝え、聞き返された経験者は多いだろう。音の高低の幅を大きくとると、はっきり聞こえるという。「かわべ」なら高音の「か」をより高く、低音の「わ」「べ」をより低く、と

ア あごと舌を一緒に下げ、上下の歯の間を指2本分くらい開ける



エ 唇の両端を左右に少し開く。舌は「ア」よりも前に持ち上げる



イ 唇の両端を左右に引いて平たく。舌先を上歯ぐきへ向け上げる



ウ 唇の両端を「イ」より中央に。舌付け根あたりを盛り上げる



オ 唇は小指が入る程度に丸く。舌は奥に引き込む



## 母音の口の開け方

川邊暁美さんの著書から

た具合だ。

「聞きやすい声に加えて『表情のある声』をめざして」と川邊さん。伝えたいことを、相手とより共有で

きるようになる。

朗読教室では、兵庫県宝塚市の澤年乃さん(82)が持ってきた新聞記事の創作童話を読み合った。

「このセリフは主人公が自分自身に言い聞かせていますよね」「このくんだり近所の人がひそひそ話をしている感じでしょうか」。川邊さんは受講生と情景、登場人物の心情を話し合いながら「テンポ良く」「言い終わるときにやさしく音を置いて」などとアドバイスをしていく。

澤さんが登場人物になりきりセリフを読むと「上手ですね」と声があがった。「言葉に感情を込められるようになった。朗読すると元気が出ます」(上原賢子)

▼次回は27日から「ヒリヤードをもう一度」です。